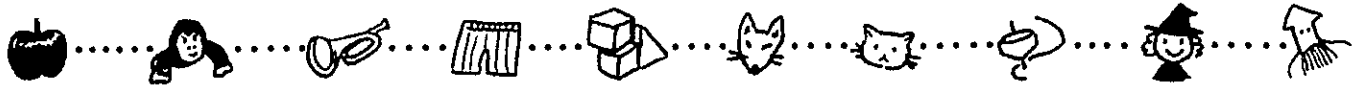


あーち通信

2019年2月号

Vol.161



親子遊びと子育て講座

親子で楽しく遊びながら、子育てについて学びましょう！

6ヶ月～2歳のお子さんが対象です。動きやすい服装でご参加ください。4回シリーズ（予約制・各回先着 15組）

日時：①2/7(木) ②2/21(木) ③3/12(火) ④3/20(水)

各回とも 10:45～12:00

場所：こらぼ・あーち ※詳細は館内のポスターをご覧ください。

パパと遊ぼう！（パママセミナー同窓会）

保育士さんによる楽しいプログラムで、パパとお子さんの交流を深めましょう。ママの参加も大歓迎！おおむね1歳以上のお子さんが対象です。動きやすい服装でご参加ください。

日時：2月9日（土）10:45～11:45

場所：こらぼ・あーち

子ども食堂番外編 親子でクッキング！

災害時にも役立つ「パッククッキング」に挑戦！耐熱ポリ袋を使って、簡単でおいしいお料理を作ります。（予約制・先着 10組）

4歳～小学生のお子さんと保護者のペアでお申し込みください。

日時：2月13日（水）15:00～

場所：ほっと・あーち

参加費：親子1組につき 300円

※詳細は館内のポスターをご覧ください。



Message from U.S.A.～

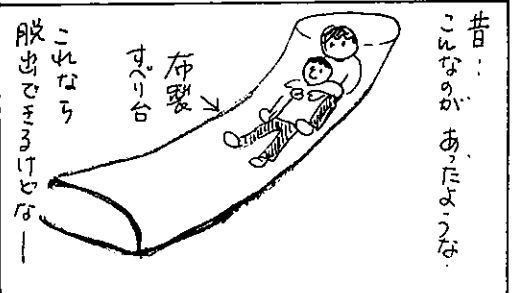
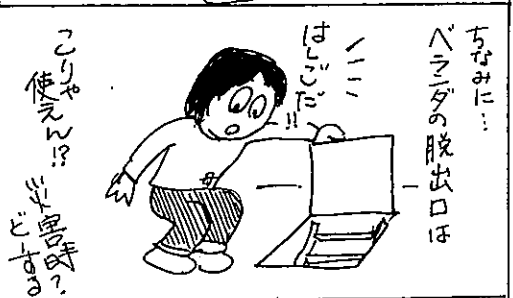
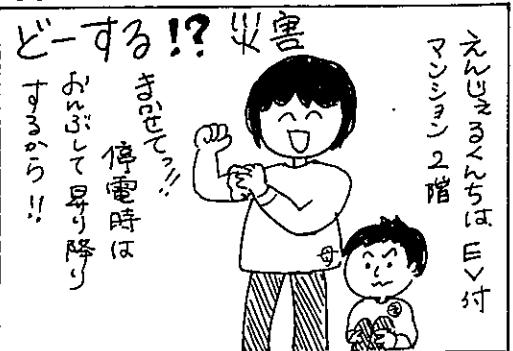
”If you want to do, you can do!”

”Take an action, and you create your own opportunity. An action leads to another action.” 「やりたい気持ちがあれば、できるのよ。」

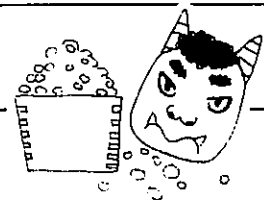
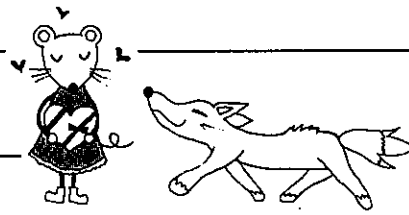
「行動すれば、それが自分へのチャンスになるし、その行動はまた次の行動に繋がっていくわ。」日本ではあまり考えられないことなのですが、アメリカでは、例えばアルバイトでも働きたいというお店があれば、そのお店が求人広告をだしていなくても、そのお店に通い続けて自分の働きたいというやる気と情熱を見せると雇ってくれるようです。「年齢、学歴、お金のあななしに関係なく、この国は自分の願いをもってやる気さえせば、誰もが成功できる国なんだよ。」と誇らしそうに配偶者も友達も口をそろえて言います。やる気と情熱は、国に関係なく人の心、そして自分の人生を動かす原動力ですね。

（アメリカ イリノイ州在住 東口たまき）

えんじえる君Ⅱ by Bon



2月 予 定 表

		こらぼ・あーち	ゆーす・あーち	ふらっと・あーち		
1	金	くりにかるあーと 11時～ めだか親子クラブ／おりがみ遊び 4時～ よる・あーち 4時～8時				
2	土	いのちをつなぐイベント(会議) 10時30分～ おはなしの国 1時30分～2時 あらかると音楽遊び 2時30分～3時30分				
3	日	休 館				
4	月					
5	火	あーち人形劇団「むー」会議 1時～		おひさまひろばあーち (午前中)		
6	水	えいごであそぼう 11時～		ベビーマッサージ11時～ (はいはい)		
7	木	親子遊びと子育て講座① (予約制) 10時45分～12時				
8	金	みんなで歌おう 10時30分～12時 よる・あーち 4時～8時				
9	土	パパと遊ぼう! (パパママセミナー同窓会) 10時45分～11時45分 てつがくカフェ 1時45分～3時45分	いのちをつなぐイベント(会議) 10時30分～			
10	日	休 館				
11	月					
12	火					
13	水	ほのぼの音ランド 11時20分～	親子でクッキング (予約制) 3時～			
14	木	親子のびのび体操 11時15分～ 筆をもとう 1時～2時30分				
15	金	リフレッシュYOGA 10時45分～ アートセラピー 4時～ よる・あーち 4時～8時	あーち通信編集会議 3時～			
16	土	健康あーち 11時～12時 ぽっとらっく (予約制) 午後	いのちをつなぐイベント(会議) 10時30分～			
17	日	休 館				
18	月					
19	火	あーち人形劇団「むー」会議 1時～		おひさまひろばあーち (午前中)		
20	水	おかたづけ講座 11時～ あーち♥ビギナーズ交流会 (予約制) (6ヶ月未満のお子さん) 1時30分～3時	パパママぽっと 10時30分～12時	ベビーマッサージ11時～ (ねんね)		
21	木	親子遊びと子育て講座② (予約制) 10時45分～12時	ほっこりぽっと 10時40分～			
22	金	みんなで歌おう 10時30分～12時 らくがきおばさんがやってきた 4時～ よる・あーち 4時～8時				
23	土	いのちをつなぐイベント(会議) 10時30分～ おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～	おもちゃ病院 1時～3時			
24	日	休 館				
25	月					
26	火	あーち博物館 (準備)		おひさまひろばあーち (午前中)		
27	水	あーち博物館 (準備)		おしゃべりぽっとタイム 11時～		
28	木	あーち博物館 (準備)	筆をもとう 1時～2時30分			

・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。

・「ベビーマッサージ」に参加される方はバスタオルを1枚お持ちください。

・**太字**のプログラムは今月の特別プログラムです。

・「ふらっと」は16時30分より整理整頓の時間とさせていただきます。

・どのプログラムも参加・見学することができます。(予約制を除く)

よる・あーちのプログラム

- ・居場所づくり 4時～ (こらぼ)
- ・学習支援 5時～ (ふらっと、ゆーす)
- ・こども食堂 6時～ (ぽっと)

【プログラム案内】

アートセラピー・・・自然素材や絵の具、粘土など様々な素材に触れながら、体全体で創作表現します。
 あらかると音楽あそび・・・手づくり紙芝居や絵本と一緒に音楽遊びを楽しみます。
 えいごであそぼう・・・英語を使った手遊びや歌、ダンスをして遊びます。
 おしゃべりほっとタイム・・・子育てを中心にちょっと気がかりなことなど、みんなでワイワイ話しませんか？
 おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。（絵本の読み聞かせ）
 おひさまひろば・・・灘区内公立保育所の保育士さんによる親子体操や手遊び、歌やお話など。
 おもちゃ病院・・・壊れたおもちゃを修理します。
 親子のびのび体操・・・手あそびや体操で親子のスキンシップをはかります
 おりがみ遊び・・・おりがみを折ったり、工作を楽しみながら、さまざまな人たちと交流をはかります。
 音楽の広場・・・参加型の演奏、おはなしなど、音楽を通してさまざまな人々が出会う場にしていきます。
 パパママほっと・・・自閉症スペクトラムのお子さんを持つ保護者のための、語らいと情報交換の場です。
 ビギナース交流会・・・生後6か月頃までの赤ちゃんとお母さんのための交流会です（予約制）。
 筆をもとう・・・書の初歩から学びます。気軽に楽しく書に親しみましょう。小学生以上～おとな対象。
 ベビーマッサージ・・・バスタオルと赤ちゃんの飲み物（お茶、母乳など）を持参してください。
 ほのぼの音ランド・・・音楽療法士による季節のうたや楽しいリズム遊び、楽器遊び。
 みんなで歌おう・・・作業所のみなさんがゴスペルを中心に歌います。みんなで一緒に歌いましょう。
 めだか親子クラブ・・・身近な材料で、ぶんぶんゴマや竹とんぼなどの楽しいおもちゃを作ります。
 よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラムです。
 らくがきおばさんがやってきた・・・何を描こう？何を作ろう？みんなで自由にアートを楽しみます。
 リフレッシュYOGA・・・肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心に、自宅でもできるYOGA。

＜ふらっと相談員＞

～お気軽にお声をかけてください～

火曜 午前 保育士
 水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会（第4水）
 灘区地域活動支援コーディネーター（不定期）
 木曜 午前 助産師（月2回）
 土曜 全日 助産師

あーちのルール

☆オムツやゴミはお持ち帰りください
 ☆託児はできません
 ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です
 ルールを守って楽しくすごしましょう！



「かえるをのんだととさん」～日本の昔話～

作（再話）：日野十成

絵：斎藤隆夫

出版社：福音館書店 2008年1月発行



昔話の中には、大人にとって残酷だなあと思う場面があったりして、読ませたくないなあと思われるかもしれませんが。この絵本にも、おじいさんが鬼を飲み込む場面が出てきますが、あっけらかんとした語り口とユーモラスな絵のおかげもあり、息子は何度読んでも大爆笑！お腹を抱えて笑っていました。

読み終わると「おじいさん治ってよかったねえ」と、犠牲になった狸師のことなんて気にもとめていません。子どもにとっては、主人公が最後にめでたしめでたしとなればそれで満足なのですね。

最後になれば「かかさんやあ」というセリフだけで面白さがこみ上げます、おためしあれ！

（むらかみ）

四十七通目「まんなくんへの期待」

みのり



長女さん：卒業間近クラスで優しく声をかけてくれる女の子と友達になりました、小六
まんなくん：「なんでも多数決で決めていいわけじゃない」という名言、小三
三番目：ダンスの発表会の衣装は King&Prince そっくりです、六歳

少し前の話になるが、冬休みの終わりに上二人と書初めの宿題に取り組んだ。学校の展覧会に出すのは三学期の始業式に書いた作品だが、家でも何枚か練習して一番よく書けたものを提出しなければならない。一枚目は二人羽織りのようにして一緒に筆を持ち、注意点を言いながら書いていく。長女さんは私が言った通りに書こうと丁寧な筆運びだ。一枚仕上げるごとにうまくなくなっていく。まんなくんはしぶしぶ道具を準備したものの嫌で仕方がない様子。私が手を添えたものと、私がそばについてアドバイスしながら書いたものの二枚で「もーええわ。」となった。「自分で書いたやつしか提出できへんから」と二枚目を持って学校に行った。始業式の日の夜に「書初めどうやった？」と聞いたが「時間かかって二枚しか書けなかったからそれで出した。」という返答。後日、宿題で提出した分と展覧会に「出さなかった方」が返却された。

二枚を広げて感じたこと。「『出さなかった方』がすばらしい」確かに、字形が整っているのは私が高んたんだ口を出した方。ひらがなと漢字の大きさもバランスがいい。学校で自力で書いたものは、ひらがなは癖が強いし、漢字は筆の根元まで使ったのか太すぎる。でも字に勢いがあるというか、莫山先生風というか、何かの商品のパッケージに書かれているかのようなすてきな書だった。「こっちの方がいいよね？」と夫に言うと、「まあ、何を求められてるかだよな...。」と苦笑された。お手本は見ていないのか見る余裕がなかったのか、無視もいいところ。指導してくれている先生にとったら「なにやってんだ」で「がっかり」かもしれない。でも味があるその作品はとても魅力的だった。

まんなくんは不器用だが凝り性な面があって、図工の作品や絵入りの新聞は時間内に仕上げられない。「どうしよう」と制作の方向性を迷っている間に時間が過ぎるか、細部にこだわりすぎて完成に至らないことが大半だ。学校では「多少雑になっても時間内に仕上げる」ことが目標にされることが多いし、自分でもそうしたいと思ってできないのを気にしている。それでも集中して作ったものは「いいもの」なことが多い。母としては「時間内にいいものを」を求めてしまうが、それは無理だろうな。

まんなくんの発達を見てくれている先生は会うたびにこう言う。「本人に目標に向かって頑張らせて引っ張り上げる部分もある。でも自分の特性を自覚して『僕こういう奴やねん』と周りに言えるのもいいよな。」これは本人にも言えるし、私へのメッセージでもある。「周りと一緒にではないつらさ」をずっと感じてきた。どうしてこんなに手がかかるの!? どうしてこんなに心配なことが多いの!? 育児で困って泣いた回数は他のきょうだいの何倍も何十倍もだ。でもまんなくんの存在は私に忍耐を教えてくれた。「ありのまま」を受け入れて、ちょっとした成長を喜べるようになってきた。まんなくんが何かにこだわって時間をかけているとイライラして怒鳴ってしまうことも多いが、「そうだよな〜、まんなくんならこうするよな。」とスッと受け止められることが増えてきた。時々予想もしなかったようなすてきな作品や優しい発言が出てくる。特性は「まあいいか」で置いておこう。困った時は一緒に考えよう。こだわりが職業に結びつくかもしれない。まんなくんの将来が楽しみです。

草々